柏市議会令和８年第３回定例会会議録（第９日）

○

令和８年１０月２日（金）午後１時開議

議事日程第９号

日程第１　議案（第２６号～第３６号）

日程第２　所管に関する事務調査の件

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（３４名）

１番	矢澤英雄君	２番	田口康博君
３番	福元　愛君	４番	若狭朋広君
５番	内田博紀君	６番	永山智仁君
７番	上橋しほと君	８番	北村和之君
９番	小川百合子君	１０番	村越　誠君
１１番	渡邉晋宏君	１２番	桜田慎太郎君
１３番	平野光一君	１４番	武藤美津江君
１５番	佐藤　浩君	１６番	林　紗絵子君
１８番	渡辺裕二君	１９番	伊藤　誠君
２０番	小松幸子君	２１番	塚本竜太郎君
２２番	阿比留義顯君	２３番	円谷憲人君
２４番	後藤浩一郎君	２５番	末永康文君
２６番	渡部和子君	２７番	山田一一君
２８番	松本寛道君	２９番	岡田智佳君
３０番	中島　俊君	３１番	林　伸司君
３３番	田中　晋君	３４番	助川忠弘君
３５番	古川隆史君	３６番	坂巻重男君

欠席議員

なし

説明のため議場へ出席した者

〔市長部局〕

市長	太田和美君	副市長	染谷康則君
副市長	山田大輔君	上下水道事業管理者	飯田晃一君
危機管理部長	熊井輝夫君	総務部長	鈴木　実君
企画部長	小島利夫君	財政部長	恒岡厚志君

広報部長	吉田みどり君	広報部理事	宮本　等君
市民生活部長	永塚洋一君	健康医療部長	小倉孝之君
健康医療部理事	真田理江君	健康医療部理事	岡村秀明君
福祉部長	矢部裕美子君	こども部長	依田森一君
環境部長	稲荷田修一君	経済産業部長	松澤　元君
都市部長	坂齊　豊君	都市部理事	平久和則君
土木部長	内田勝範君	消防局長	本田鉄二君
会計管理者	田口　大君	上下水道局理事	後藤義明君

〔教育委員会〕

教育長	田牧　徹君	教育総務部長	中村泰幸君
生涯学習部長	宮本さなえ君	学校教育部長	平野秀樹君

〔選挙管理委員会〕

事務局長	山岡康宏君

〔農業委員会〕

事務局長	関野昌幸君

〔監査委員〕

代表監査委員	中山浩二君	事務局長	渡会美保君

職務のため議場へ出席した者

事務局長	渡邊浩司君	次長兼議事課長	石田　清君
議事課課長補佐	藤井　淳君	議事課係長	坂田智文君
議事課係長	野方彩加君	議事課主任	小川　熙君
議事課主事	川﨑真奈君		

○

午後　１時開議

○議長（坂巻重男君）　これより本日の会議を開きます。

○議長（坂巻重男君）　日程に入るに先立ち、報告いたします。

地方自治法第180条第１項の規定による専決処分について報告されました。会議システム内のデータにより御了承願います。

以上で報告を終わります。

○議長（坂巻重男君）　日程に入ります。

○

○議長（坂巻重男君）　**日程第１、議案第26号から第36号**の11議案を議題といたします。

議案第26号について、総務市民委員会における審査の経過と結果の報告を求めます。林総務市民委員長。

〔総務市民委員会委員長　林　伸司君登壇〕

○総務市民委員会委員長（林　伸司君）　総務市民委員会に付託されました議案につきまして、その審査の経過と結果を御報告いたします。

議案第26号、令和７年度柏市一般会計歳入歳出決算の認定、当委員会所管分についてを議題といたしました。委員から、防災対策の実効性を高めるためには今回の千葉豪雨のような災害を踏まえ、日頃から地域住民を巻き込んだ避難訓練などを実施することが重要だと考えるが、令和７年度はどのように取り組んだのかとの質疑があり、当局から、地域での防災講習会を年間約170件実施しているほか、職員も参加した避難所開設訓練を実施する等の活動を通じて災害対応の実効性を高める取組を進めているとの答弁がありました。また、委員から、広報活動事業について広報かしわを全戸配布しているが、実際にどの程度読まれているかなど状況把握はしているかとの質疑があり、当局から、定期的にアンケートを実施しており、多くの方に読んでいただいていると認識している。ただ、現状が最善とは考えておらず、今後は内容の充実を図るとともに、紙だけでなくデジタルも活用し、より多くの方に読んでいただけるよう努めていくとの答弁がありました。また、委員から、基金の取崩しや市債の活用による財源確保には限界があると思うが、今後どのようなところに力を入れて歳入を確保する方針かとの質疑があり、当局から、企業誘致を積極的に進めることで企業からの投資だけでなく定住促進や市民税、固定資産税等の税収増加にもつなげたいと考えているとの答弁がありました。また、委員から、自主財源を増やすことは重要であるが、それが行政サービスの質や量の向上に直結するとは限らないと認識しているが、どうかとの質疑があり、当局から、直接的なサービス拡充につながるかは難しい面もあるが、継続すべき行政サービスを維持しつつ時勢に応じて見直しを行い､新規事業を実施する余地を確保していく必要があると考えているとの答弁がありました。また、委員から、行財政改革の主な取組について生成ＡＩにより議会答弁書の作成や想定問答の作成をしているとのことだが、活用に当たっての弊害もあると思うが、どうかとの質疑があり、当局から、職員向けの研修を実施し、ＡＩを使用する場合であっても議会答弁書等については最終的に職員が判断し､責任を負うものだということを伝えているとの答弁がありました。また、委員から、東葛中部地区総合開発事務組合総務費負担金について事務費の負担が相変わらず過大であると認識しているが、本市の単独事業として行い、他市から負担金を取るという形にすれば事務経費が少なくなるのではないかと考えるが､どうかとの質疑があり､当局から、現時点で精密な試算はしておらず、仮に本市の単独事業とする場合も相応の事務経費は発生することが想定されるが、今後そういった視点も持っていきたいとの答弁がありました。また、委員から、交通安全啓発指導事業について自転車ヘルメット購入補助金の交付額が事業を開始した前年度と比較してほぼ半額となっているが、認識はどうかとの質疑があり、当局から、中高年を中心にヘルメットの着用率があまり上がっていないと認識はあるが、ヘルメットを着用することで事故のけがや死亡の危険性を大幅に低減できるため、引き続き重要性を啓発していくとの答弁がありました。

採決の結果、議案第26号、当委員会所管分は賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決しました。以上で報告を終わります。

○議長（坂巻重男君）　ただいまの報告に対し質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（坂巻重男君）　以上をもって質疑を終結いたします。

○議長（坂巻重男君）　議案第26号、第27号、第29号、第30号、第33号、第34号について、健康福祉委員会における審査の経過と結果の報告を求めます。佐藤健康福祉委員長。

〔健康福祉委員会委員長　佐藤　浩君登壇〕

○健康福祉委員会委員長（佐藤　浩君）　健康福祉委員会に付託されました各議案につきまして、その審査の経過と結果を御報告いたします。

議案第26号、令和７年度柏市一般会計歳入歳出決算の認定、当委員会所管分について、議案第27号、令和７年度柏市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第29号、令和７年度柏市介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第30号、令和７年度柏市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第33号、令和７年度柏市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第34号、令和７年度柏市病院事業会計決算の認定についての６議案を一括して議題といたしました。議案第26号について、委員から、成年後見制度の相談が実際の支援につながることが重要だと思うが、担当課としてその点はどのように評価しているかとの質疑があり、当局から、社会福祉協議会や地域包括支援センター、生活支援拠点などが１次相談機関となり、相談後に本人の状況を踏まえて成年後見制度の必要性や他の支援方法を検討し、本人の権利擁護に最も適した支援につなげているとの答弁がありました。また、委員から、動物の不妊去勢手術助成金の補助金額が個別で異なる理由は動物の体重等の条件によるものかとの質疑があり、当局から、自由診療のため医療機関により金額が異なり、領収書の内訳を精査した上で実績に応じた額を補助しているためであるとの答弁がありました。また、委員から、がん患者ウイッグ等購入等助成事業のウイッグ等の助成者数や助成額、利用状況はどうかとの質疑があり、当局から、助成者数は令和６年度と比較して60人ほど増加し、利用の９割程度をウイッグが占めているとの答弁がありました。また、委員から、生活困窮者自立支援事業についてほかの事業へ予算を流用する必要があった理由は何かとの質疑があり、当局から、会計年度任用職員の交通費の不足分に当てるため委託料の不用額を流用したものであるとの答弁がありました。

議案第27号について、委員から、保健事業利用券事業について従来の複数の事業、カテゴリーが昨年度から３事業３カテゴリーに集約された背景と理由はとの質疑があり、当局から、令和６年度までは４事業であったが、令和７年度から特定健診の対象が拡大され、18歳以上が無料で受診できるようになり、自己負担がなくなったため特定健診に係る保健事業利用券を廃止し、３事業に集約したものであるとの答弁がありました。

議案第33号について、委員から、後期高齢者健診事業について健診受診率は42.4％とのことだが、例年も同程度の水準で推移しているのかとの質疑があり、当局から、後期高齢者の健診受診率は令和６年度実績で44％となっており、近年は40％台で推移しているとの答弁がありました。また、委員から、後期高齢者医療保険料について後期高齢者医療の窓口負担割合は令和４年10月から一定数の所得がある方について１割から２割に引き上げられ、令和７年９月まで経過措置が実施されたが、柏市における対象者数はとの質疑があり、当局から、令和７年９月末時点で後期高齢者医療の負担割合が２割となっている方は２万548人であるとの答弁がありました。

議案第34号について、委員から、病院事業会計について病床稼働率が伸びない理由と今後の対応はどうかとの質疑があり、当局から、患者数は増加したものの増加した眼科や小児科は在院日数が短いことが原因である。今後は長期入院患者の確保や広報活動の強化による新規患者の獲得等に取り組んでいくとの答弁がありました。

議案第29号及び第30号については質疑なく、採決の結果、議案第29号、第30号及び第34号は

全会一致で、議案第26号、当委員会所管分、第27号及び第33号は賛成多数でいずれも原案のとおり認定すべきものと決しました。以上で報告を終わります。

○議長（坂巻重男君）　ただいまの報告に対し質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（坂巻重男君）　以上をもって質疑を終結いたします。

○議長（坂巻重男君）　議案第26号、第32号について、教育子供委員会における審査の経過と結果の報告を求めます。小松教育子供委員長。

〔教育子供委員会委員長　小松幸子君登壇〕

○教育子供委員会委員長（小松幸子君）　教育子供委員会に付託されました各議案につきまして、その審査の経過と結果を御報告いたします。

議案第26号、令和７年度柏市一般会計歳入歳出決算の認定、当委員会所管分について、　議案第32号、令和７年度柏市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定についての２議案を一括して議題といたしました。議案第26号について、委員から、病児保育事業について国の基準改定に伴う市の委託料の増加幅はどの程度かとの質疑があり、当局から、令和６年度から1,276万で、令和７年度が1,593万円のため25％ほどの増加となっているとの答弁がありました。また、委員から、給付型奨学金事業について支給人数が２名というのは想定どおりか、また対象を拡大する考えはとの質疑があり、当局から、３名分で予算を計上しており、希望者３名のうち１名が諸事情により申請に至らなかった。本事業は、柏で育った子供たちの未来に一つでも多くの選択肢が増えることを願い立ち上げたものであるため、限られた財源の中で経済的支援だけでなく、精神面でのケアなどきめ細やかな支援を続けていきたいとの答弁がありました。また、委員から、中学校管理運営業務について備品や消耗品など予算が不足していないかとの質疑があり、当局から、物価高騰により金額が上昇した部分もあるが、それも加味して予算配分しているため予算内で対応できているとの答弁がありました。また、委員から、送迎保育ステーション事業について支出状況からの概算で利用者１人当たり500万円程度の金額がかかっていることになっているが、この状況をどのように受け止めているかとの質疑があり、当局から、この実態を改善するため利用者の増加や委託料を抑える方法を検討していきたいと考えているとの答弁がありました。また、委員から、乳児等通園支援制度について予算の執行率が伸び悩んでいるが､理由をどのように分析しているかとの質疑があり､当局から、令和７年度の予算編成時点での国からの補助単価が示されておらず、市内保育施設への意向調査を基に見込みで予算を積算したが、意向のあった施設54園のうち２園の登録にとどまった。加えて、私立園に対して受け入れる児童の年齢に応じた補助金の単価を設けているが、単価も伸びず、低い執行率となったとの答弁がありました。また、委員から、令和７年度予算審議の際に水泳授業民間委託事業について子供たちのためというのはもちろんだが、教職員や子供に関わる大人のための事業であり､それが結果として子供たちのためになるという考えを示した。令和７年度を通じて職員にもこうした考えが広がっていると感じ、引き続きこの意識を持って業務に取り組んでいただきたいとの意見がありました。

議案第32号について、委員から、母子父子寡婦福祉資金貸付事業について貸付けの利用者が少ない状況についての認識はどうかとの質疑があり、当局から、年度によって増減があるが、貸付けの利用者は近年減少傾向にある。対象の方々への給付や講習会等を通じて支援を行って

いるとの答弁がありました。
採決の結果、議案第32号は全会一致で、議案第26号、当委員会所管分は賛成多数でいずれも原案のとおり認定すべきものと決しました。以上で報告を終わります。

○議長（坂巻重男君）　ただいまの報告に対し質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（坂巻重男君）　以上をもって質疑を終結いたします。

○議長（坂巻重男君）　議案第26号、第28号、第31号、第35号、第36号について、建設経済環境委員会における審査の経過と結果の報告を求めます。福元建設経済環境委員長。

〔建設経済環境委員会委員長　福元　愛君登壇〕

○建設経済環境委員会委員長（福元　愛君）　建設経済環境委員会に付託されました各議案につきまして、その審査の経過と結果を御報告いたします。

議案第26号、令和７年度柏市一般会計歳入歳出決算の認定、当委員会所管分について、議案第28号、令和７年度柏市公設総合地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第31号、令和７年度柏市柏都市計画事業北柏駅北口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について、議案第35号、令和７年度柏市水道事業会計の利益の処分及び決算の認定について、議案第36号、令和７年度柏市下水道事業会計の利益の処分及び決算の認定についての５議案を一括して議題といたしました。議案第26号について、委員から、柏駅東口駅前再整備事業について今後の方向性はどのようになっているかとの質疑があり、当局から、柏駅東口駅前再整備、そごうの跡地の暫定活用、柏駅北口改札という部分については人を引きつけるコアとなるまちを目指すものとして、未来ビジョン策定後できる限り早く実現に向けて取り組んでいるところであるとの答弁がありました。また、委員から公設市場再整備及び市場用地活用基本計画策定が令和７年度で完了とあるが、その後のスケジュールはどのような内容かとの質疑があり、当局から、事業者公募に向けた要求水準書の策定や事業協力者の絞り込み等を行って事業を精査していくことを予定しているとの答弁がありました。また、委員から、水質汚濁防止法及び湖沼水質保全特別措置法に基づく立入検査に係る調査分析委託について、どの場所を対象に、どのような項目を分析したのかとの質疑があり、当局から、市内の工場、研究所等のうち水質汚濁防止法の特定施設に該当する事業場への立入検査を行い、そこで処理している排水の水質を分析しているとの答弁がありました。また、委員から、柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合清掃事業の負担金について組合からの脱退を協議開始するとあったと思うが、現状はどうかとの質疑があり、当局から、現在も協議中であるが、公表できる合意点は今のところない。今後も引き続き協議を続け、公表できる段階になった際に公表していきたいと考えているとの答弁がありました。また、委員から、柏市ふるさと産品認定事業業務委託について委託成果をどのように評価しているかとの質疑があり、当局から、ふるさと産品のホームページ管理やＰＲイベントの実施をしたこと、大規模なイベント実施も問題なく実施されたというところから高い評価をしているとの答弁がありました。また、委員から、家庭系ごみの量が減少している一方で、資源化率が年々低下していることをどのように捉えているかとの質疑があり、当局から、ごみの総量とともに資源品の回収量も減少しており、資源品の減少幅が大きいため資源化率が低下していると考えている。特に古紙はペーパーレス化や新聞講読者の減少、古布は衣服のリユースの増加などが影響していると考えているとの答弁がありました。

議案第35号について、委員から、繰越額が多くなっていることについてその主な要因や事業の進捗への影響をどのように捉えればよいかとの質疑があり、当局から、繰越額には継続費が含まれており、継続事業のうち年度内に完了しなかった部分を翌年度に繰り越しているものである。対象となる事業は工事などであり、翌年度に完了する予定であるとの答弁がありました。

議案第35号及び第36号について、委員から、ウオーターＰＰＰ関連事業の事業費は令和７年度の当初予算総額のどこの金額かとの質疑があり、当局から、当初予算額の収益的支出と資本的支出の合計額であるとの答弁がありました。

議案第36号について、委員から、下水道管路の包括的委託について令和７年度は第２期の中間に当たるが、現在の進捗状況と残りの期間で予定している施工を完了できる見込みなのかとの質疑があり、当局から、管路内調査は予定量を全て完了しており、改築施工は一部を実施している。業務内容によって進捗にばらつきがあり、残りの期間は施工を中心に進め、業務期間内の完了を目指しているとの答弁がありました。

議案第28号及び第31号については質疑なく、採決の結果、議案第28号及び第31号は全会一致で、議案第26号、当委員会所管分は賛成多数でいずれも原案のとおり認定すべきものと決しました。また、議案第35号及び第36号は、賛成多数でいずれも原案のとおり可決及び認定すべきものと決しました。以上で報告を終わります。

○議長（坂巻重男君）　ただいまの報告に対し質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（坂巻重男君）　以上をもって質疑を終結いたします。

○議長（坂巻重男君）　これより採決を行います。

○議長（坂巻重男君）　採決は、押しボタン式投票をもって行います。

議案に賛成の方は青色の賛成ボタンを、反対等を主張し、賛成できない方は赤色の反対ボタンを押してください。

会議規則により、いずれのボタンも押さず在席しているときは反対ボタンを押したものとみなされますので、御注意願います。

○議長（坂巻重男君）　まず、第１区分の議案第28号から第32号、第34号を一括して採決いたします。

議案第28号から第32号、第34号に対する委員長報告は、いずれも原案認定であります。

賛成、反対ボタンを押してください。

〔投　　票〕

○議長（坂巻重男君）　押し間違いはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（坂巻重男君）　以上で投票を終了いたします。

投票総数33人、賛成33人、反対ゼロ人、よって議案第28号から第32号、第34号は原案のとおり認定されました。

○議長（坂巻重男君）　議案第26号、第27号、第33号、第35号、第36号については、討論の通

告があります。

討論に入るに当たり、議長からお願い申し上げます。討論については、先例により１人５分以内となっておりますので、よろしくお願いをいたします。

順次発言を許します。

議案第26号、第27号、第33号、第35号、第36号について反対討論、平野光一さん。

〔13番　平野光一君登壇〕

○13番（平野光一君）　日本共産党の平野光一です。議案第26号、第27号、第33号、第35号及び第36号について、会派を代表し、認定できない立場を明確にして一括して討論を行います。

議案第26号は、令和７年度柏市一般会計歳入歳出決算の認定についてです。議案第27号は国民健康保険事業特別会計、議案第33号は後期高齢者医療事業特別会計、そして議案第35号、第36号はそれぞれ上水道事業会計、下水道事業会計の利益の処分及び決算の認定についてです。2025年度は、その全期間を通じて物価高騰が続き、まず市民の暮らし、市内事業者の営業を支えるための対策が強く求められました。決算報告書に物価高騰対策事業費がまとめられていますが、その98.35％、39億1,500万円は国庫補助金が財源で、柏市の一般財源は僅か1.65％、約6,500万円にすぎません。柏市にお金がないのかというと、そうではありません。私は、昨年３月の予算議会で少なくとも個人市民税の37億円の増収分と地方消費税交付金の16億円の増収分は名目賃金の上昇と物価高騰によるものだから、市民の負担を減らし、暮らしを応援する政策に使われるべきだと指摘しました。決算では、地方消費税交付金の増収は８億5,000万円にとどまりましたが、個人市民税は見通しを上回る約40億円の増収となりました。お金がないのではなくて、市民の暮らし、営業の困難を思いやる心が足りないと言わざるを得ません。市民向けの支出を出し惜しみした結果、実質収支は一般会計で45億8,000万円の黒字、不用額は全体で117億6,000万円にも上っています。国保では、2024年度の8,500円の値上げに続いて、昨年度はさらに平均7,500円値上げしました。後期高齢者医療でも負担が増やされました。国保や後期高齢者医療の市民にとっては、支援が足りないどころか国、県、市の行政によって困難が増幅されています。

2025年度の柏市のＧＩＧＡスクール関連の支出は22億7,000万円、2020年以来およそ60億円の支出です。公教育に民間を参入させようとする財界の思惑が強く働いており、今後も巨額の支出が想定されますが、ＩＣＴ教育やデジタル機器の利用は、子供の脳の発達に否定的な影響を与えるとの研究が次々示され、アナログ教育への回帰や子供のスマホ制限などを行う国が増えています。義務教育学校について、昨年度は施設に関する動画が作成、公開されました。実際とは大きく違う動画です。教育委員会は、３つの学校の児童生徒に教育委員会の考えるメリットのみを伝える説明会を行い、この動画を視聴させました。これは、子供たちの真実を知る権利を踏みにじるものです。ＧＩＧＡスクール構想と施設一体型の大規模義務教育学校の計画は、今からでも中止を決断することを求めます。

上水道事業会計、下水道事業会計においては、昨年８月に柏市ウオーターＰＰＰ事業実施方針案が示されました。これまでの５年間、40億円の下水道包括委託を上下水道全体を対象に拡大し、10年間で267億円の長期巨額委託に移行し、企業グループの利益拡大を図るものです。命の水を民間に売り渡すのかという批判が全国で、そして柏市でも沸き起こっています。上下水道は、公共財産として将来にわたって維持されるべきです。

柏市が類似自治体の平均を上回る財政力を持ちながら多くの分野で平均以下の住民サービス

にとどまっているのは、巨大開発優先の財政運営が長く続いた結果です。ＴＸ沿線の巨大開発に続いて柏駅周辺の巨大開発に踏み出すことになれば、さらに市民要求の実現は遠のきます。開発優先の財政運営を立ち切り、暮らし、福祉、教育優先の市政に転換することを求めて、決算５議案に反対の討論といたします。

○議長（坂巻重男君）　次に、議案第26号について賛成討論、林紗絵子さん。

〔16番　林　紗絵子君登壇〕

○16番（林　紗絵子君）　市民サイドの林紗絵子です。会派を代表して、議案第26号について討論いたします。

令和７年度の一般会計決算は、借換債を除く実質ベースで歳入が1,920億円、歳出が1,853億円となり、前年度を10％以上上回る規模になりました。定額減税が終了したこともあり、個人市民税は大きく増加したものの依存財源の伸びも大きく、自主財源比率が低下しました。経常収支比率は91.9％と高い水準で、弾力性を欠く状況です。北部クリーンセンターの長寿命化工事や田中中学校の増築、体育館の空調設備設置などにより普通建設事業費が大きく増加し、市債も増えました。将来負担比率や実質公債費比率は目標値をクリアしていますが、元金償還額以内に収まらなかったため、一般会計、特別会計、全会計ベースで起債残高が増加しています。今後見込まれる投資的事業の必要性は高く、削減は難しい状況ではありますが、建築資材高騰や労務費上昇により建設コストが増額し、金利も上昇しています。市立柏病院の現地建て替えでは、2023年に132億円を見込んでいた工事費が2025年には293億円にまで増額しました。建て替えが困難になったことから、船橋市との連名で国や県に対し支援を求める要望書を提出し、基本設計を見直すことでコスト抑制を図るとのことですが、建て替えの決断が10年早かったら思わずにはいられません。秋山市政の緊縮的な財政運営が影響し、公共施設等総合管理計画では適切な時期に改修しなかった推計967億円が第２期計画以降に先送りになっていると指摘されています。過年度の投資的事業の先送りが現在の財政悪化につながっているのではないでしょうか。今後も状況は厳しくなっていくと予測されますが、インフレや金利上昇も踏まえ、長期的に健全な財政運営を目指してほしいと考えます。

柏中学校区義務教育学校計画では、昨年度校舎の設計が行われました。老朽化した柏第一小学校の建て替えは否定しませんが、柏第一小学校と旭東小学校の廃止について事前説明のないまま決定事項として公表され、なし崩し的に統廃合が進められることを容認はできません。３月には子供たちへの説明とアンケート調査が行われましたが、メリットばかりで不都合に目を向けない説明やまだ決まっていない、これから検討するで済ませる回答は不誠実です。懸念される大規模校化の影響も学校管理職へのヒアリングのみで、子供や保護者には調査していません。本市は、市民との向き合い方を抜本的に見直すべきです。

一方、教育子供政策に力を入れてきたことは評価できます。昨年度は、給付型奨学金が創設されました。初年度で利用人数や決算額こそ小さいものの、社会的養護の下で育った若者をしっかり支え、彼らの選択肢が広がっていくことに期待します。また、産後ケア事業の対象者の要件が緩和されました。産後鬱や育児孤立を防ぐために極めて重要な取組です。検診費用の見直し、特にがんになる前の前がん病変を発見できるため効果が高い子宮頸がん検診費用の見直しを高く評価します。レディース検診の導入や子連れで行きやすい集団検診の実施も重要な施策でした。

また、昨年度は、地域新電力会社の設立に伴い、出資金の支出が計上されました。今年度か

らの電力供給で脱炭素エネルギーの普及と電力の地産地消が進むことを期待します。太陽光発電設置加速化補助金は、国の補助金が取れずとも市費で実施している点を高く評価します。ゼロカーボン促進総合補助金は、需要の伸びが大きい中、県の補助上限で申込みを締め切っているため市費での拡充を求めます。また、防災、減災対策を重点事業としていることを高く評価します。昨年度は、トイレカーの導入や防災用簡易井戸の設置が計上され、防災対策事業は年々決算額が増額しています。一方で千葉豪雨や台風25号の対応の中で見えてきた数々の課題もあります。災害対策本部の立ち上げ時期や事前通行規制、冠水危険箇所の周知などは見直しが必要です。気候変動による豪雨災害が増えている今、防災施策のさらなる拡充に期待し、議案第26号の賛成討論といたします。

○議長（坂巻重男君）　以上で討論を終結いたします。

○議長（坂巻重男君）　これより順次採決を行います。

○議長（坂巻重男君）　まず、第２区分の議案第26号について採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案認定であります。

賛成、反対ボタンを押してください。

〔投　　票〕

○議長（坂巻重男君）　押し間違いはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（坂巻重男君）　以上で投票を終了いたします。

投票総数33人、賛成27人、反対６人、よって本案は原案のとおり認定されました。

○議長（坂巻重男君）　次に、第３区分の議案第35号について採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決及び認定であります。

賛成、反対ボタンを押してください。

〔投　　票〕

○議長（坂巻重男君）　押し間違いはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（坂巻重男君）　以上で投票を終了いたします。

投票総数33人、賛成27人、反対６人、よって本案は原案のとおり可決及び認定されました。

○議長（坂巻重男君）　次に、第４区分の議案第36号について採決いたします。

本案に対する委員長報告は、原案可決及び認定であります。

賛成、反対ボタンを押してください。

〔投　　票〕

○議長（坂巻重男君）　押し間違いはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（坂巻重男君）　以上で投票を終了いたします。

投票総数33人、賛成27人、反対６人、よって本案は原案のとおり可決及び認定されました。

○議長（坂巻重男君）　次に、第５区分の議案第27号について採決いたします。
本案に対する委員長報告は、原案認定であります。
賛成、反対ボタンを押してください。
〔投　　票〕
○議長（坂巻重男君）　押し間違いはありませんか。
〔「なし」と呼ぶ者あり〕
○議長（坂巻重男君）　以上で投票を終了いたします。
投票総数33人、賛成23人、反対10人、よって本案は原案のとおり認定されました。

○議長（坂巻重男君）　次に、第６区分の議案第33号について採決いたします。
本案に対する委員長報告は、原案認定であります。
賛成、反対ボタンを押してください。
〔投　　票〕
○議長（坂巻重男君）　押し間違いはありませんか。
〔「なし」と呼ぶ者あり〕
○議長（坂巻重男君）　以上で投票を終了いたします。
投票総数33人、賛成23人、反対10人、よって本案は原案のとおり認定されました。

○

○議長（坂巻重男君）　**日程第２、所管に関する事務調査の件**を議題といたします。
〔末尾参照〕
○議長（坂巻重男君）　各委員長より、会議システム内のデータのとおり、所管に関する事務の閉会中継続調査の申出があります。
お諮りいたします。各委員長申出のとおり、閉会中の事務調査を許可するに御異議ありませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
○議長（坂巻重男君）　御異議なしと認めます。よってさよう決しました。

○議長（坂巻重男君）　以上をもって今期定例会に付議されました事件等は全て議了いたしました。
閉会に当たり、市長に挨拶を許します。市長太田和美さん。
〔市長　太田和美君登壇〕
○市長（太田和美君）　令和８年第３回定例会の閉会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。
去る９月２日から31日間にわたり、各案件について慎重なる御審議を賜り、ここに全日程を終えることができました。厚く御礼を申し上げます。審議の過程において各議員からいただいた御意見、御要望等につきましては、十分検討し、業務の執行に当たってまいりますので、今後とも御指導、御協力を賜りますようお願いを申し上げます。
終わりに、議員各位におかれましては、季節の変わり目でございますので、健康に十分御留意され、市政運営に一層の御支援を賜りますようお願いを申し上げまして閉会に当たっての挨拶といたします。ありがとうございました。
○議長（坂巻重男君）　去る９月２日から本日までの各位の御労苦と御協力に対し、深甚なる

謝意を表します。

これにて柏市議会令和８年第３回定例会を閉会いたします。

午後　１時４３分閉会